

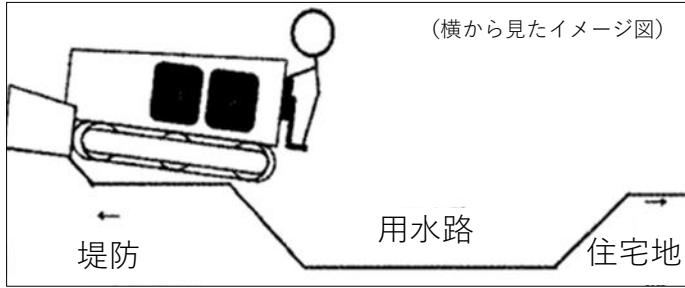
# 建設業で死亡労働災害発生

## 1 災害発生状況

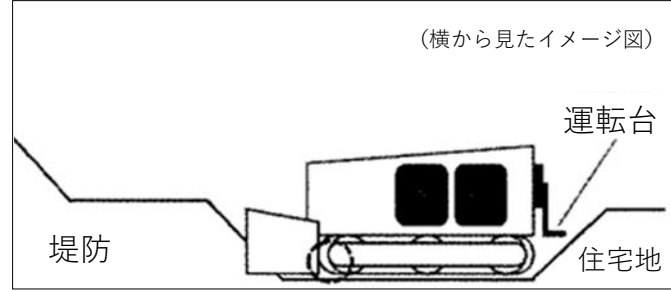
令和5年6月2日9時頃、当署管内の某河川堤防で、草刈作業中の労働者が、法面下方の用水路で、運転していた乗用草刈機の下敷きとなって発見されました。

法面途中の水平部分（小段）で方向転換した時に発生と推定。

### ① 被災前（推定）

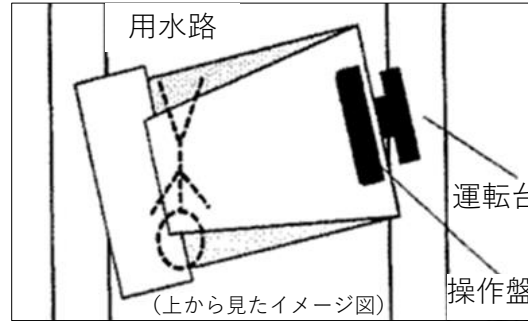


### ② 発見時



法面の傾斜 頂上付近で 最大約40°  
頂上付近以外 25° ~ 30°

乗用草刈機の大きさと被災場所の広さ  
草刈機の大きさ、高さ約1.3m、幅約1.9m、長さ約2.9m（クローラ長約1.7m）に対して、方向転換したと推定される水平部分の幅1.8m



方向転換時、運転台を法面下側に向けたこと

## 2 乗用草刈機等の使用に係る安全対策

道内では乗用草刈機等を運転作業中の災害が多く発生しています。

上記災害の発生状況を踏まえ、特に次の2点の徹底をお願いします。

### (1) 作業場所に合わせた作業計画の作成

- 作業場所の凹凸や障害物の有無
- 使用する傾斜地の角度・法面の長さ
- 方向転換の場所



### 乗用草刈機等の使用に係る安全対策

北海道内において、過去10年間(平成24年～令和3年)に乗用草刈機等を運転作業中に8人(農家3人、土木工事業2人、ゴルフ場業1人、その他2人)の死亡労働災害が発生しました。乗用草刈機等による労働災害を防止するため、次の事項を参考に取組をお願いします。

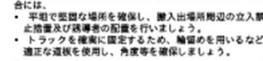
#### 1 作業開始前点検等

弊業不良の乗用草刈機等以下「乗刈機」という。は、エンジンの不調や安全装置等の動作不良等が原因で思わぬ災害を誘発する恐れがありますので、作業開始前点検として、エンジン、ブレーキ、連動レバー、安全停止装置等の動作状態及び防塵カバー、油圧継、冷却水等の点検を確実に行いましょう。

#### 2 草刈機の搬入・搬出時の安全対策

乗刈機を作業場所へトラック等に搬入して移送する場合には、

- 荷役で堅固な場所を確認し、搬入出場可能な立入禁止措置及び誘導者の配置を行います。
- トラックを確実に固定するため、輪留めを用いるなど適正な固定を使用し、角度等を確保しましょう。



#### 3 作業場所に合わせた作業計画の作成

乗刈機は平坦な場所以外でも使用されますので、事前に草刈機を使用する場所を確認し、作業場所の凹凸や障害物の有無、傾斜地を使用する場合はその角度・法面長さ、方向転換場所を確認しましょう。

作業により知り得た事項についてリスクアセスメントを行い、作業場所に合った作業計画を決定しましょう。この際、草むらの中に隠れている輪、杭等にも注意し、夏季については熱中症予防についても併せて対策をお願いします。

また、作業場所は関係者以外立入禁止とする措置を取りましょう。

北海道労働局・労働基準監督署（文庫）

## 帯広労働基準監督署

〒080-0016 帯広市西6条南7丁目3 帯広地方合同庁舎  
TEL (0155) 97-1244 (安全衛生課)

## (2) 作業計画に基づいた手順の教育

### ① 傾斜地での安全対策

- 取扱説明書等で使用できる傾斜角を確認し、その角度以下で使用する
- 法面では、下方から等高線沿いに直進し、順次上方側へと上る走行順路で運転操作すること



### ② 方向転換時の安全対策

- 傾斜の緩い安全な場所まで移動してから低速走行で行うこと



## 3 工期各工程での基本的安全対策の徹底

### □ 熱中症防止対策

熱中症予防対策の専門家による検討委員会において、最新の知見をもとに作成されたガイドをご活用ください。



### □ 墜落防止対策

#### ① 一側足場の使用範囲の明確化

幅が1メートル以上の箇所での足場の使用は原則として本足場とすることが必要です。



#### ② はしごを使う前に/脚立を使う前に

はしご、脚立からの墜落転落災害が後を絶たしません。

使用時における安全チェックを徹底しましょう。



# 第14次 労働災害 防止計画

## 誰もが安全で健康に働くために

### 計画期間

2023(R5)年度から2027(R9)年度までの5か年間

### 計画の目標

2027(R9)年の死亡災害及び死傷災害を次のとおりとする

○死亡災害 2022(R4)年と比較して10%以上減少

○死傷災害 2022(R4)年と比較して減少に転じさせる

